

令和3年度

予算に関する説明資料

(一般会計補正予算第7号)

北海道上川郡清水町

事業シート (概要説明書)								
予算事業名	地域活性化事業負担金・地域活性化事業決済手数料給付金・キャッシュレス端末機器導入等補助金			事業開始年度	令和3年度			
上位施策事業名	清水町総合計画			担当課・係名	商工観光課			
根拠法令等					商工観光係			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			作成責任者	吉田寛臣			
実施の背景	新型コロナウイルス感染症予防対策及び感染拡大による飲食店の営業自粛要請等で落ち込んだ消費の回復を図るとともに、将来を見据えた新たな視点での消費喚起を目的として、町外者の消費の取り込みを図る必要がある。							
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染症予防対策として、非接触型である「キャッシュレス」の推進を図るとともに、感染拡大により特に消費の落ち込みが著しい飲食店を対象に、主要3社が提供する電子決済(PayPay, D払い, auPAY)による「キャッシュレスポイント還元キャンペーン」を実施し、町内外からの消費の取り込みを行う。また、ハーモニーカード端末機器更新に伴い、従来のポイント付与機能のみの端末から電子マネー対応の端末機器に対応する機器を導入する。							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町内商工業者及び飲食店、キャッシュレス利用者			対象者数 (全住民に対する割合)			
					人	(%)	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: PayPay, docomo, KDDIau)						
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔直接〕 (補助先: 清水町商工会 実施主体: ハーモニー商店会)						
<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()								
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標			
	地域活性化キャンペーンとして、対象飲食店54店舗でのキャッシュレス利用者へ、ポイント還元の実施 (PayPay, D払い, auPAY決済額の30%、付与上限1回1,000円、1ヶ月10,000円)		8,191	千円	利用者数			
	地域活性化キャンペーンとして、期間中飲食店が負担する決済手数料の給付 (対象54店舗)		2,177	千円	給付金額			
	地域活性化キャンペーン開催チラシ作成料、チラシ新聞折込料		64	千円	実施回数			
従来のハーモニーカードポイント付与機能端末機器からキャッシュレス機能搭載の端末機器への導入に対する補助 (端末機70台)		11,123	千円	電子マネーカード交付枚数				
関連事業 (同一目的事業等)								
コスト	令和3年度 (予算)		うち9月補正額		2年度 (決算)			
	事業費合計	21,555	千円	21,555	千円	0	千円	
事業費内訳 (3年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化キャンペーン事業負担金 (3社) 8,191千円 ・地域活性化キャンペーン決済手数料給付金 (対象54店舗) 2,177千円 ・地域活性化キャンペーン開催チラシ作成料、新聞折込料 64千円 ・キャッシュレス端末機器 (旧ハーモニーカード) 導入等補助金 11,123千円 							
財源 内訳	国道支出金		千円		千円		千円	
	国道支出金の内容							
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特財		千円		千円		千円	
	その他特財の内容							
一般財源	21,555	千円	21,555	千円	0	千円	千円	
財源合計	21,555	千円	21,555	千円	0	千円	千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名	中小企業近代化資金利子補給等補助金		事業開始年度	昭和38年度	
上位施策事業名	清水町総合計画		担当課・係名	商工観光課	
根拠法令等	清水町中小企業近代化資金融資条例、同施行規則			商工観光係	
事務区分	■自治事務 □法定受託事務		作成責任者	吉田寛臣	
実施の背景	新型コロナウイルス感染症予防対策及び感染拡大による一時的な業績の悪化に伴う運転資金の確保や、事業転換による設備投資の必要性が高まっている。				
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的に業績が悪化した中小企業者に対し、融資枠の拡大を行うとともに、昨年度に引き続き、運転・設備資金貸付額1,500万円、貸付期間10年、保証料・利子補給全額補給を行い、当面の資金繰りを支援し、中小企業者の経営安定化を図りたい。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町内中小企業者		対象者数 (全住民に対する割合)	
				人	() %
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	【一般】コロナ制度へ移行等に伴う減額。運転資金 (1,000万円, 10年, 保証料全額, 利子補給5年) 設備資金 (2,000万円, 10年, 保証料全額, 利子補給5年1.5%)	▲4,259 千円	補給件数		
	【コロナ/前年同月5%減】一般制度からの移行等に伴う増額。運転・設備資金 (1,500万円, 10年, 保証料全額, 利子補給10年)	15,136 千円	補給件数		
		千円			
		千円			
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト	令和3年度 (予算)		うち9月補正額		2年度 (決算)
	事業費合計	32,727 千円	10,877 千円	29,778 千円	千円
事業費内訳 (3年度)	【一般】補正額▲4,259千円 (当初予算額11,000千円-決算見込額 6,741千円) 【コロナ】補正額 15,136千円 (当初予算額10,000千円-決算見込額25,136千円) ※コロナ利子補給等件数見込 運転77件、設備3件 (前年度継続分含む)				
財源 内訳	国道支出金	千円	千円	19,000 千円	千円
	国道支出金の内容		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (国)		
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	その他特財の内容				
一般財源	32,727 千円	10,877 千円	10,778 千円	千円	
財源合計	32,727 千円	10,877 千円	29,778 千円	千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名	地域活性化商品券事業		事業開始年度	平成14年度	
上位施策事業名	清水町総合計画		担当課・係名	商工観光課	
根拠法令等	清水町商工業振興事業補助金交付要綱			商工観光係	
事務区分	■自治事務 □法定受託事務		作成責任者	吉田寛臣	
実施の背景	昨年度より新型コロナウイルス感染症感染拡大による消費の低迷が続ぎ、当初予算を前倒して商品券の発行組数を増加し、一時的な業績の悪化に伴う商工業者の経済支援の必要性が高まっている。				
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、個人消費が低迷する中、例年課題となっている予算内においての商品券購入限度額の引き下げを撤廃し、購入者が希望組数を購入できることにより、機会損失を無くし消費喚起を促すことで、潤沢な資金を町内に流入することができる。 また、感染拡大により特に消費の落ち込みが著しい飲食店のための専用券を発行し、当面の経済支援対策としたい。				
対象 (誰・何を対象に)	町内商工業者			対象者数 (全住民に対する割合)	
				人	() %
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)				
	■補助金〔直接・間接〕(補助先: 清水町商工会 実施主体: 清水町商工会他)				
	<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()				
事業概要	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標
	【6月発行】うきうき商品券 当初23,105千円(1組13千円×7,000組) 変更後42,283千円(1組13千円×13,000組)		19,178	千円	換金額
	【11月発行】地域活性化商品券 当初21,340千円(1組12千円×10,000組) 変更後27,630千円(1組12千円×13,000組)		6,290	千円	換金額
	【2月発行】うきうき商品券 当初14,745千円(1組12千円×7,000組) 変更後7,745千円(1組11千円×7,000組)		▲7,000	千円	換金額
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト	令和3年度(予算)		うち9月補正額		2年度(決算)
	事業費合計	77,658 千円	18,468 千円	90,468 千円	千円
	事業費内訳 (3年度)	【6月発行】補正額19,178千円(当初予算額23,105千円-決算見込額42,283千円) 【11月発行】補正額6,290千円(当初予算額21,340千円-決算見込額27,630千円) 【2月発行】補正額▲7,000千円(当初予算額14,745千円-決算見込額7,745千円)			
財源 内訳	国道支出金	26,000 千円	26,000 千円	67,982 千円	千円
	国道支出金の内容	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国) プレミアム付商品券発行支援事業費補助金(道)			
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	その他特財の内容				
一般財源	51,658 千円	▲7,532 千円	22,486 千円	千円	
財源合計	77,658 千円	18,468 千円	90,468 千円	千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名	小規模事業者持続的発展支援事業給付金・中小企業等事業再構築促進事業給付金		事業開始年度	令和3年度	
上位施策事業名	清水町総合計画		担当課・係名	商工観光課	
根拠法令等				商工観光係	
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	吉田寛臣	
実施の背景	新型コロナウイルス感染症予防対策及び感染拡大による小規模事業者の販路開拓、また、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の社会に対応すべく業態転換や事業転換の必要性が高まっている。				
目的 (何をどうしたいのか)	販路開拓（ブランド力の向上、商品宣伝、HPの開設）を目指す小規模事業者等のポストコロナ社会に対応したビジネスモデルへの転換に資する取組や感染防止対策費の支援を行う。 また、新分野展開や業種転換、事業再編などの取組を通じた規模拡大を目指す企業の支援を行う。（国の補助事業の自己負担分一部助成）				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町内中小企業者			対象者数 (全住民に対する割合)
				人 (%)	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	【持続的発展支援】 新型コロナウイルス感染予防対策のための設備投資や販路開拓を目的とする持続化補助金の自己負担分一部助成 【国費】 一般型 補助率2/3(上限50万円) リスク型 補助率3/4(上限100万円) 【町費】 一般型 補助率1/3(上限250,000円)6件 リスク型 補助率1/4(上限333,333円)2件	1,500 667	千円	給付件数	
【再構築促進事業支援】 新分野展開や業態転換等の取組を通じた規模拡大を目的とする再構築促進事業補助金の自己負担分一部助成 【国費】 通常枠 補助率2/3(上限6,000万円) 特別枠 補助率3/4(上限 500万円) 【町費】 通常枠 補助率1/3(上限 100万円)2件 特別枠 補助率1/4の上限10% (上限166,666円)1件	2,000 167	千円	給付件数		
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト	事業費合計	令和3年度(予算)	うち9月補正額	2年度(決算)	
	事業費内訳 (3年度)	4,334 千円	4,334 千円	0 千円	千円
財源 内訳	国道支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	一般財源	4,334 千円	4,334 千円	0 千円	千円
	財源合計	4,334 千円	4,334 千円	0 千円	千円

事業シート (概要説明書)										
予算事業名	芽室岳登山口環境整備事業				事業開始年度	令和3年度				
上位施策事業名	清水町総合計画				担当課・係名	建設課				
根拠法令等						公園緑化係				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				作成責任者	本間 裕美				
実施の背景	芽室岳は道内でも人気の登山スポットとして知られ、町の観光施設として重要な位置づけであるが、平成28年の水害により土石流が発生した影響で登山口の山小屋周辺は山小屋の損傷・土石の堆積等により使用不能の状態となっている。現在論議されている「日高山脈襟裳地域」が国立公園化されると、芽室岳を含む登山人気の上昇が想定されるため登山口の利用環境を整える必要がある。									
目的 (何きどうしたいのか)	被災前に登山口周辺に整備されていた山小屋、駐車場を復旧し観光施設として維持管理を行い登山を通じた観光客の取り込みを図る。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町民及び登山利用者				対象者数 (全住民に対する割合)				
						9,226	人	(100	%)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕(補助先: 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()								
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費		活動指標					
	芽室岳登山口の駐車スペースを整地し車での乗り入れが可能となるよう整備する	352	千円							
			千円							
			千円							
			千円							
	関連事業 (同一目的事業等)									
コスト		令和3年度(予算)		うち9月補正額		2年度(決算)				
	事業費合計	352	千円	352	千円	0	千円		千円	
	事業費内訳 (3年度)	芽室岳登山口環境整備工事 352千円								
財源 内訳	国道支出金		千円		千円		千円		千円	
		国道支出金の内容								
	地方債		千円		千円		千円		千円	
	その他特財		千円		千円		千円		千円	
		その他特財の内容								
	一般財源	352	千円	352	千円	0	千円		千円	
	財源合計	352	千円	352	千円	0	千円		千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名	清水公園整備事業 (清水公園ドッグラン設置)	事業開始年度	令和3年度	
上位施策事業名	清水町総合計画	担当課・係名	商工観光課	
根拠法令等			商工観光係	
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	吉田寛臣	
実施の背景	清水町には観光客にとって魅力的な景勝ポイントやご当地グルメ、人気の高い飲食店など、多様な観光関連資源が存在しており、十勝清水インター近くの好立地条件を生かした「清水公園」に情報発信拠点を置き、訪れた人へのニーズに合わせた情報の提供を行い、滞在時間の増加による経済効果を上げることが期待されている。			
目的 (何をどうしたいのか)	<p>令和元年度に「清水公園再整備検討委員会」が設置され、清水公園が「町民の憩いの場」であるとともに、観光客が清水公園を目的地として訪れる施設として位置づけられ、基本構想案が町に答申された。それを受け令和3年度より、清水公園でのトラックマーケット (野菜の直売) の開催や、キャンプ場開放を実施し、利用者から多くの好評を得た。</p> <p>また、それら実践の中で、コロナ禍によるペット需要も高まり、公園内のドッグランの設置要望が町内外から聞かれ、秋の紅葉シーズン、さらには、来年度春からの利用に合わせて、ペットをきっかけとした町民と観光客の交流の場として、清水公園利用者の満足度をあげる取組を行いたい。</p>			
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町民・観光客	対象者数 (全住民に対する割合) 9,226 人 (100 %)	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)		
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接〕 (補助先: 実施主体:)		
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	清水公園内にドッグラン (小型犬、中・大型犬用) の設置工事	1,249 千円	利用者数	
		千円		
		千円		
関連事業 (同一目的事業等)				
コスト	令和3年度 (予算)	うち9月補正額	2年度 (決算)	
	事業費合計	1,249 千円	1,249 千円	0 千円
事業費内訳 (3年度)	清水公園内ドッグラン設置工事 1,249千円			
財源内訳	国道支出金	千円	千円	千円
	国道支出金の内容			
	地方債	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円
	その他特財の内容			
	一般財源	1,249 千円	1,249 千円	0 千円
財源合計	1,249 千円	1,249 千円	0 千円	

事業シート (概要説明書)										
予算事業名	文化芸術事業協力員設置事業				事業開始年度	令和3年度				
上位施策事業名	清水町総合計画				担当課・係名	教育委員会				
根拠法令等						社会教育課文化振興係				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				作成責任者	安ヶ平宗重				
実施の背景	町の郷土文化に対する注目と期待が集まり、史跡等の見学者が本年度に入り急激に増え、史跡管理等のみの対応では困難となり、その説明や案内を専属的に町内外に行う必要が出てきた。また、令和4年度に予定する第九合唱演奏会の業務と音楽的コーディネート、町内の音楽愛好者への働きかけや町内外へのPRなどを推し進める必要がある。									
目的 (何をどうしたいのか)	町内外の人に文化史跡をPRし、郷土文化の浸透を図るため、郷土史跡の見学や説明、見学のコーディネートを行うと共に、令和4年度に予定する第九合唱演奏会の業務と音楽的コーディネートを図り、第九のまちづくりを町内外に浸透させるために文化芸術事業協力員を設置する。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町民及び町外者				対象者数 (全住民に対する割合)				
						9,226	人	(100	%)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕(補助先: 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()								
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費		活動指標					
	文化芸術事業協力員任用経費	2,385	千円							
			千円							
			千円							
			千円							
	関連事業 (同一目的事業等)	郷土文化振興事業、第九文化継承事業								
コスト	事業費	令和3年度(予算)		うち9月補正額		2年度(決算)				
		事業費合計	2,385	千円	2,385	千円	0	千円		千円
		事業費内訳 (3年度)	職員給料 1,476千円 職員手当等 143千円 共済費 235千円 住宅借上料 531千円							
財源 内訳	国道支出金		千円		千円		千円		千円	
		国道支出金の内容								
	地方債		千円		千円		千円		千円	
	その他特財		千円		千円		千円		千円	
		その他特財の内容								
	一般財源	2,385	千円	2,385	千円	0	千円		千円	
	財源合計	2,385	千円	2,385	千円	0	千円		千円	